

明治学院大学 経済学部 経済学科

Meiji Gakuin University THE FACULTY OF ECONOMICS
DEPARTMENT OF ECONOMICS



新しい時代を
しなやかに生き抜く
学びの場



進化するグローバル情報化社会で、 自己実現を可能にするキャリア・プログラム



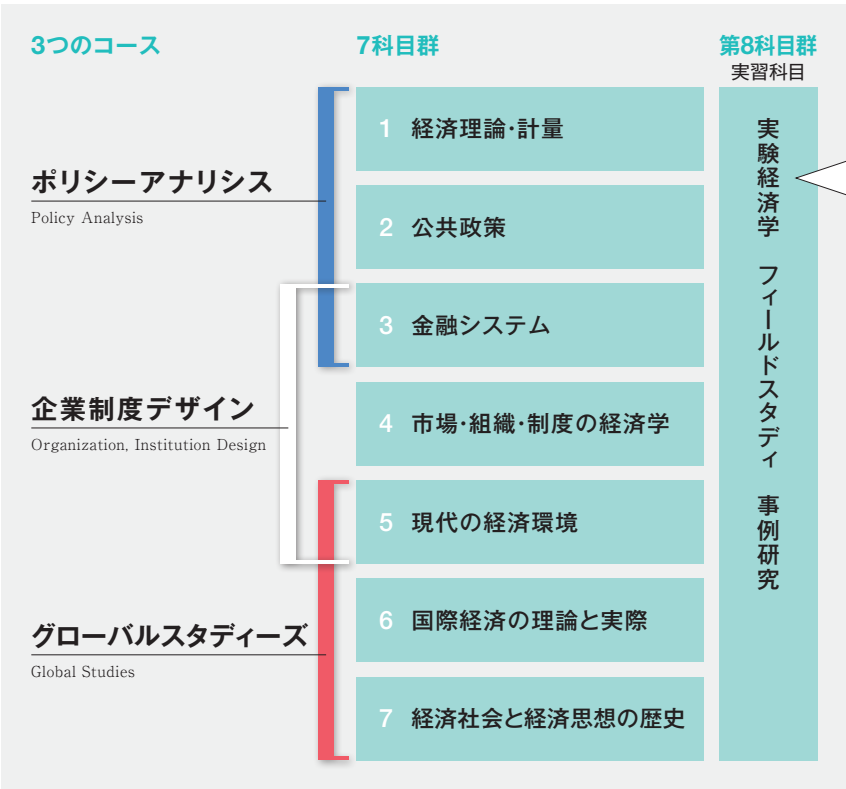
経済学科では、充実した基礎教育と専門性に応じた3コース制の教育により、自己実現のためのキャリア設計を可能にする力を高めていきます。1年次は経済学の入門科目や幅広い教養科目で基礎を固めるとともに、少人数制の経済情報処理や基礎演習などの科目で実践力を養い、ネイティブによるレベル別の英語教育を通じて語学力の向上も図ります。2年次からはコースを選択し、将来のキャリアに直結する専門科目や、税理士・ファイナンシャルプランナーなどの資格取得支援講座も受講できます。体験型学習として、最新の実験室を備えた「実験経済学」や海外「フィールドスタディ」も提供しています。もちろん、学習を進めていくうちに興味・興味のある分野が変わることもありますので、コースの垣根を超えた科目の履修や、途中でのコース変更も可能な柔軟なシステムになっています。また、同じ学部の経営学科・国際経営学科科目の履修も可能です。さらに、1年間留学をしても通常の4年間で卒業することが可能な、正規留学や認定留学*制度も整備しています。

*留学先で取得した専門科目の単位を明治学院大学の単位・成績として認定します。

基礎教育と専門性に応じた3コース

全学科生が3つのコースから関心のあるコースを選択し、経済学の基礎知識を専門性のあるものへと発展させ、キャリアパスを構想します。

※より詳細な情報は経済学部オリジナルホームページでご確認ください。



実験経済学

実験経済学では、実験を通して実際の取引などを体験することで、経済学の理論をより深く理解できるだけでなく、人の心理や人間同士の駆け引きを、理論と実験とを対応させながら学ぶことができます。さらに経済学部では、最新の施設を用いた実験経済学や行動経済学などの先端研究も進めています。



コース紹介

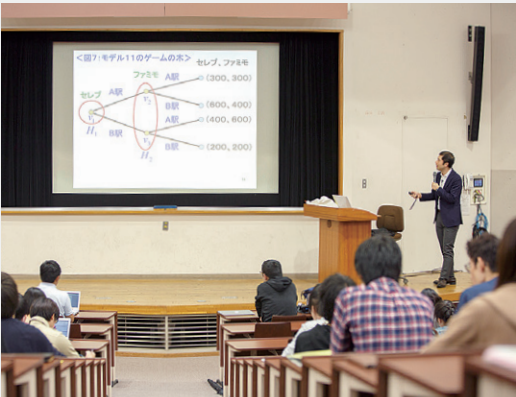
ポリシーアナリシス

Policy Analysis

理論と実証に基づいて、
より良い社会の仕組み・公共政策を考える

主な科目群 経済理論・計量 / 公共政策 / 金融システム

- | | |
|-----------|--|
| ■ 学習内容 | ● 経済学の理論的・実証的分析により、経済や金融・財政の仕組みを理解し、その動向を把握します。 |
| | ● 経済政策が市場や社会に与える影響を分析・予測し、望ましい政策や制度を考えます。 |
| ----- | |
| ■ 目指すキャリア | ● 税理士 ● 証券アナリスト ● ファイナンシャル・プランナー
● 公務員 ● 大学院進学 ● 銀行・保険等金融機関 |



企業制度デザイン

Organization, Institution Design

深化するデータエコノミー*への
戦略的思考と分析技術を身につける

*人工知能(AI)やビッグデータを駆使し、人の行動や企業の活動が生み出すデータを競争力向上や組織改善、社会生活向上などに生かす新たな経済。

主な科目群 金融システム / 市場・組織・制度の経済学 / 現代の経済環境

- | | |
|-----------|--|
| ■ 学習内容 | ● 経済理論を使って、企業の戦略や法制度の影響を分析します。 |
| | ● データを活用して、様々な現象のメカニズムや影響の度合いを実証的に明らかにします。 |
| ----- | |
| ■ 目指すキャリア | ● 金融・ファイナンス関係の専門職
● コンサルタント、ITスペシャリスト ● データサイエンティスト
● エコノミスト ● ビジネススクールやロースクールへの進学
● 企業の人事・企画部門スタッフ |



グローバルスタディーズ

Global Studies

グローバル化した経済に対する深い理解のもと
高度なコミュニケーション力を駆使する

主な科目群 現代の経済環境 / 国際経済の理論と実際 / 経済社会と経済思想の歴史

- | | |
|-----------|--|
| ■ 学習内容 | ● グローバル社会で生じている多様な問題を、地域や時代などの観点から複層的に理解します。 |
| | ● 国内外のフィールドワークを通じて、多様で複雑な課題を実感し、現場対応力を培うとともに、それらの課題を解決する手段を経済学的に検討していきます。 |
| ----- | |
| ■ 目指すキャリア | ● 国際機関 ● グローバル企業 ● 商社、流通 ● メディア
● ジャーナリスト ● 海外大学院進学 ● ベンチャー企業
● ファッション |



人はなぜそう行動するのか？

ーインセンティブから考える経済学の魅力

経済学は、私たちが暮らす社会で「人や企業、政府がどのように意思決定し、行動しているのか」を理論とデータを使って分析する学問です。お金や景気の話だけでなく、進学や就職、働き方、環境問題、少子高齢化、教育制度など、身近で現実的なテーマを幅広く扱います。その根底にある重要な考え方の一つがインセンティブです。インセンティブとは、人が「そう行動したくなる理由」や「行動を変えるきっかけ」のことを指します。

経済学では、人は単に気分や善意だけで動くのではなく、与えられたインセンティブに反応して行動を選ぶと考えます。例えば、アルバイトの時給が上がれば働く時間を増やす人がいるかもしれませんし、補助金があれば省エネ家電を買う人が増えるかもしれません。経済学は、こうした行動の変化を感覚ではなく、データを用いて実証し、なぜそうなのかを理論的に説明します。

この考え方を実証的に示した有名な研究の一つが、Lazear (2000)です。この研究では、ある企業が固定給から出来高払い(成果に応じた賃金)に制度を変えたとき、労働者の生産性が上昇したことが示されました。「多く働けば収入が増える」というイ

ンセンティブが、努力や働き方を変えたのです。この研究は、賃金制度の設計が人の行動に強い影響を与えることを明確に示しました。

一方で、インセンティブは必ずしも良い結果だけをもたらすとは限りません。Gneezy & Rustichini (2000)は、保育園で迎えが遅れた親に罰金を科したところ、逆に遅刻が増えたという事例を分析しました。罰金が「悪い行為への罰」ではなく、「お金を払えば許される行為」と受け取られてしまったのです。この研究は、人の心理を無視したインセンティブ設計が、逆効果になることを教えてくれます。

さらに、教育分野でもインセンティブの効果は研究されています。Lavy (2009)は、教師に生徒の成績向上に応じた報酬を与える制度を分析し、学力が向上する一方で、不正のリスクも高まる可能性を示しました。努力を引き出すインセンティブと、副作用とのバランスが重要であることが分かります。

このように経済学の魅力は、インセンティブを通じて人間の行動を理解し、より良い制度や社会の仕組みを考えられる点にあります。ニュースや政策を表面的に受け取るのではなく、「どんなインセンティブが、誰に、どのように働いているのか」を考える力



経済学科主任 児玉 直美

は、大学生活だけでなく、その先の人生でも大きな武器になります。経済学は、社会を見る目を鍛え、現実の問題に向き合うための強力な道具を与えてくれる学問なのです。

学生メッセージ



経済学部 経済学科 石飛友里恵

「問いは学びを深める鍵になる」

「生まれに縛られず、自分の将来を選択できる社会システムを実現するにはどうすればよいのか」高校生の頃からこんなことを考えていました。そして、大学ではこの問いに対して、ビックデータを統計ソフトで分析し、政策やサービスの効果を考察する「計量経済学」や「政策評価」、平等や公平を考える「政治哲学」を学んでいます。特に、こじんまりしたアットホームなゼミや少人数授業は、これらの新しい知識を身につけたり、先生や仲間と積極的な議論をしたりすることに繋がっており、ぼんやりしていた将来の夢が学生生活の中でだんだん明確になってきたと日々感じ

ています。

また、大学1年次より、大学の立地を活かし授業後に参加してきた教育系NPO法人でのインターンの経験も、実践的な学びを得ることに繋がり、将来の夢を深めるヒントを見つけるきっかけになっていると感じています。

大学生活における学びは、大学の講義だけではありません。ゼミ活動や、大学の仲間とカフェで話している際など、思いがけない環境、瞬間からも得られる事もあり、大学という環境から始まる学びの広さは期待以上です。

本誌に掲載した学生・卒業生のコメント内容等は取材当時のものです。



明治学院大学 経済学部 経済学科

Meiji Gakuin University The Faculty of Economics
Department of Economics

白金キャンパス 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 TEL 03-5421-5111(代表)

横浜キャンパス 〒244-8539 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町1518 TEL 045-863-2007(代表)

明治学院大学ホームページ
<https://www.meijigakuin.ac.jp>



経済学部オリジナルホームページ
<https://econ.meijigakuin.ac.jp>



入試についてのお問い合わせは
「入学インフォメーション」へ

TEL 03-5421-5151

月～金曜日の午前9時～午後4時、土曜日は正午まで。ただし、祝日は除きます。